



廣瀬量平
(1930~2008)

函館市生まれ。北海道大学、東京
藝術大学卒業。池内友次郎に師事。
77~96年京都市立芸術大学教授。
93~96年同大学音楽学部長。96
年京都市立芸術大学名誉教授。

00~04年同大学日本伝統音楽研
究センター所長。05年~京都コンサ
ートホール館長。この間、77年<尺
八協奏曲>で尾高賞受賞の他、数
多くの文化庁芸術祭大賞、優秀賞、
芸術作品賞を受ける。

84~88年日本現代音楽協会委員
長。91年京都府文化賞功労賞。94年
京都市文化功労者。97年紫綬褒章。
08年旭日小綬章、函館市栄誉賞。
同年11月24日京都市内にて永眠。
卒年78歳。翌09年、京都府文化賞
特別功労賞。

2011年

9月24日(土) 14:30

(開場 13:30) プレトーク 14:00~
渋谷区文化総合センター大和田
伝承ホール

廣瀬量平作品連続演奏会 II

邦楽器への激る想いを次世代に

尺八は よきにつけあしきにつけ

日本人の心の象かたちをしている

廣瀬量平

六十年代後半、空前の尺八ブームの渦中にいた廣瀬は、

生涯に尺八、箏、十七絃、二十五絃箏のための作品を、四十曲近く残した。

彼はその広範な作曲活動を通じて、日本の音の原像を、

彼の音楽観の根底に潜む汎アジア的宇宙観と、日本の精神世界のなかで醸成させようとした。

その想いは、伝統楽器を前にしてさらに熱く、彼の「激る想い」は、終生、変わることはなかった。

この演奏会は、次世代へ彼の音楽を伝承するため、彼が模索した作品の軌跡をたどりつつ、

新たな創作と、演奏活動の展望を探ろうとするものである。

